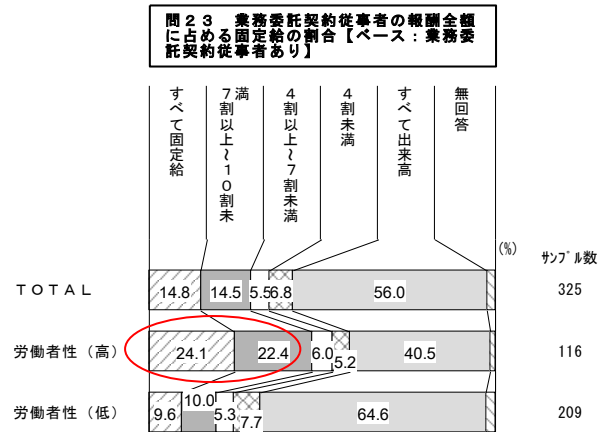
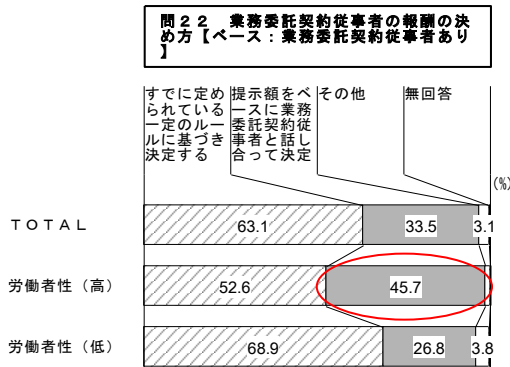


また、『労働者性（高）』では、報酬を決める際に「提示額をベースに話し合っで決定」の割合が半数近くある（45.7%）。ただし、『労働者性（低）』ほど「全て出来高」の割合が高くなく（40.5%）、相対的に「全て固定給」「7割以上が固定給」の割合が高くなっている。



一方で、繰り返し更新していた業務委託を更新しなかった経験が「ある」割合が『労働者性（低）』よりも『労働者性（高）』の方が高く、4割を超えている（44.0%）。ただし、「30日以上前に予告している」割合は、『労働者性（高）』の方が高くなっている。

